

会派の意見

9月定例会を振り返って

応じ、執行部から事前の打診や説明がなされており、今回の国のような対応は、通用しません。

自由民主党・中道の会

不安定な世界情勢により、本市にも物価、燃料等、高騰の影響を強く受けております。特に福祉施設に対しましてはサービス利用者が安心して過ごせるよう、会派として強く要請をしており、今定例会の補正予算議案では福祉施設等への迅速な予算措置がなされました。また様々な議論が交わされているマイナカード普及に対する議案につきましては、全国中核市の中でも最下位の普及率を鑑み、執行部から提出された議案書に賛同しております。普及拡大は、保険証や免許証との連動、また給付金の速やかな支給等、市民サービスに直結するものと考えております。ご理解が得られるよう今後も引き続き議論を重ねてまいります。

市民クラブ

今議会では、マイナンバーカード所持者を対象として、市独自に、抽選で2万人に1万円分の商品券を進呈する予算が計上されました。会派としては、賛否が分かれました。たが、カード普及にはその必要性や利便性を市民に理解していただき、商品券で釣るやり方は、邪道というのが一致した考え方です。また、このカードの普及率で地方交付税の算定に差をつけようとしている政府のやり方は、納得できません。

**安倍元首相の国葬は憲法違反！マ
イナカード「商品券」予算に反対**

安倍元首相の国葬は、閣議決定のみで実施が決まり、世論の反発を招きました。補正予算を提案し、国会審議を経るべきものであったと考えます。市議会では、必要に着疑惑解明を求める意見書も提案

（他会派の反対多数で否決）。
今議会に提案された予算には、

コロナや物価高騰に対応する重要な事業もありますが、マイナンバーカード普及のための商品券事業は公平性を欠く税金の使い方であり、財源となるコロナ交付金約2億円は暮らしに寄り添う支援の強化に使うべきと考えます。

商品券予算削除を求める私たちの提案に他会派から賛同があつたことは、多くの市民がこの事業に疑問を感じていることの反映です。

新こうち未来

経済効果を高める「よさこい」や「らんまん」への取り組み強化を

コロナ感染症対策に忙殺される中、インフレが追い打ち、市民生活は極度に厳しさを増している。

「よさこい特別演舞」は、ウイズチームは半減したが、70回大会への土台が確認できた。中心部の市有地が売却できたが、西敷地には依然として課題が残る。

公明党

デジタル社会を見据えた議論を！

デジタル社会に向けた事業推進を

今議会では、マイナンバーカード交付に係る議論が分かれました。しかし、時代はデジタル社会に大きくかじを切り、コロナ禍の給付事務でも行政手続きがスマート化に進むように皆さまからご意見を頂きました。その課題を解決するためにも「マイナンバーカード」は、大きな役割を担います。国におけるさらなるセーフティネットの構築は当然ですが、デジタル社会への進展を阻む議論は、全国の動向から遅れを取ると思っています。

海治甲太郎議員がコロナ終息後デジタル社会への入口となるマイナンバーカードの普及促進が必要と支援策の拡充を求めた。長浜・春野地域の海岸事業の完了を評価、三重防護事業の加速化を求めた。

清和クラブ

デジタル社会を見据えた議論を！

海治甲太郎議員がコロナ終息後デジタル社会への入口となるマイナンバーカードの普及促進が必要と支援策の拡充を求めた。長浜・春野地域の海岸事業の完了を評価、三重防護事業の加速化を求めた。

山嶽会

身近な課題を市政に反映

高橋裕忠議員が本会議で登壇し、個人情報保護から教育政策の課題について質問・提案をいたしました。今後とも市民の皆さまの身近な声にしっかりと耳を傾け、市政に着実に反映させてまいります。

公明党は、さらなる活用と安全性を求めてデジタル社会の構築を進めています。